

2006 年度

科目名 コミュニティ研究演習	対象学科・学年 文学部コミ3回生	担当者 児玉 公正
授業テーマ 教室では学ぶことができない社会の仕組みや人のつながりを学ぶ		
授業の概要と目標 コミュニティ研究演習はコミュニティ関係学科の中心となる科目です。1 年次では学科の問題領域の基礎理論（「まちづくり論」、「生涯学習概論」、「ボランティア論」など）を学び、2 年次には具体的な問題意識を持って活動するためのツールである「社会調査方法論」や「フィールド・リサーチ」を学習してきました。これらを踏まえ、ここではみなさんの興味関心事について情報を収集し、理解を深めるために実際の現場においてフィールド・ワーク(調査研究)を行い、最終的には報告書にまとめます。この体験学習は4 年次での卒業研究にも活かしていきます。		
評価方法 フィールド・ワークの実施前・実施後の研究、フィールド・ワークの報告書、フィールド・ワーク受け入れ先による評価を総合的に見て評価します。		
テキスト 各自の調査研究にあったものを随時紹介	著者	出版社
参考書 随時紹介	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ●内容 コミュニティ研究演習は通年科目として実施されます。実際の現場における体験や調査はそのなかの 80 時間（80 時間というのは、1 日 8 時間を 2 週間実施として考えています）を目安としています。あくまでも目安であり、研究演習先との相談で変更する可能性があります。フィールド・ワークの実施期間は 6 月および夏休み（8－9 月半ばまで）を原則とします。参加要件としてフィールド・ワーク実施前にはテーマに関する研究の他に基本的なマナー等の講習を行います。そして、フィールド・ワーク終了後は報告書の作成および発表を行います。 ●スケジュール フィールド・ワークの希望先については 2 年次の後期から担当教員と話し合っているため、3 年次ではフィールド・ワークを含めた全体計画書を作成するところからはじまります。 1. 「コミュニティ研究演習」のオリエンテーション（受講者全員）（4 月） 2. 担当教員の指導を受けて各自フィールド・ワーク計画書を作成する（4 月） 3. 担当教員の指導のもと、各自研究テーマについて調査を開始（4 月） 4. 受講生全員マナーおよびビジネス・レターの書き方の講習を受ける（5 月） 5. 各自フィールド・ワークの実施（原則 6・8・9 月） 6. フィールド・ワーク受け入れ先より、大学に評価が送付される（10 月） 7. 担当教員の指導のもと、各自報告書を作成する（10－12 月） 8. 受講者全員フィールド・ワークの報告をプレゼンテーション（2004 年 1 月） ※通常の報告の形態に限らず、幅広い手法（映像・動画）を含むものも可能。 9. 総合評価による成績が出される（2 月）		